

船迫地区資源保全隊〔柴田町〕

地区概要	取組面積：81.1ha（田81.1ha） 資源量：水路 13.1km 農道 6km ため池 一箇所
令和5年度交付金	農地維持支払交付金 2,433千円 資源向上支払（共同活動）交付金 1,135千円 資源向上支払（施設の長寿命化）交付金 ー千円
地域の概要	柴田町は仙台市から南へ約25kmに位置し、町の総面積は54.03平方キロメートルです。北西部は丘陵地帯で標高200m前後の山が連なり、町の東南端を阿武隈川が流れ、町を南北に二分するように中央を白石川が流れております。 『花のまち柴田』をスローガンに、春は桜、初夏の紫陽花、秋の曼珠沙華（彼岸花）と菊、冬のイルミネーション等、一年を通じて花をテーマにまちづくりを推進しています。
取組みの概要	当組織は、平成24年度から多面的機能支払交付金事業を活用し、農業者を中心に生産組合、消防団、女性部、子ども育成会と複数の団体と連携を図りながら、地区内の農業環境維持・向上に取り組んでいます。活動内容としては、用水路の草刈りや土砂上げに加え、農道整備を地域の共同活動として実施しています。また、女性部を中心に年3回の花の植栽を行い地区内の景観向上の一役を担っています。
取組みによる効果	町では平成25年頃から、野生イノシシによる農作物への被害が増加傾向になり、水稲への被害が多数発生しました。当地区においても被害が確認されたことから、平成29年に当組織のメンバーを中心とした『船迫地区鳥獣被害対策協議会』を立ち上げ、集落ぐるみによる電気柵を設置し約30haの水田を管理しています。 現在は、多面的機能支払交付金の農地維持活動における鳥獣害防護柵の適正管理を活用し、電気柵の保守点検や草刈りによる維持管理を行うことで農作物の被害を防いでいます。
今後の課題	現在、活動の主力である構成員も数年後には80代を迎え、高齢化による課題は避けられず、担い手不足解消が喫緊の課題で、将来的には広域化も見据えて、町や他地区の資源保全隊とも話し合いの場を持ちながら連携を図っています。 また当組織においては、3年前から多面的機能支払交付金事業の事務処理ソフトを導入し、少しずつではありますが、持続可能な活動となるように前向きに取り組んでいるところです。
その他	船迫地区資源保全隊の構成団体である女性部は、地区内の花植えや花壇の管理など景観資源向上の役割を担っております。この女性部では資源保全隊活動のほかに『食育』へも力を入れており、小さいお子様を持つ家庭への野菜提供や収穫体験などを行っており、地域内における世代間交流も活発に行っております。



農道砂利敷き状況



農道砂利敷き状況



排水路の草刈り状況



排水路の草刈り状況



女性部による花の植栽状況



女性部による植栽前の花壇整備状況